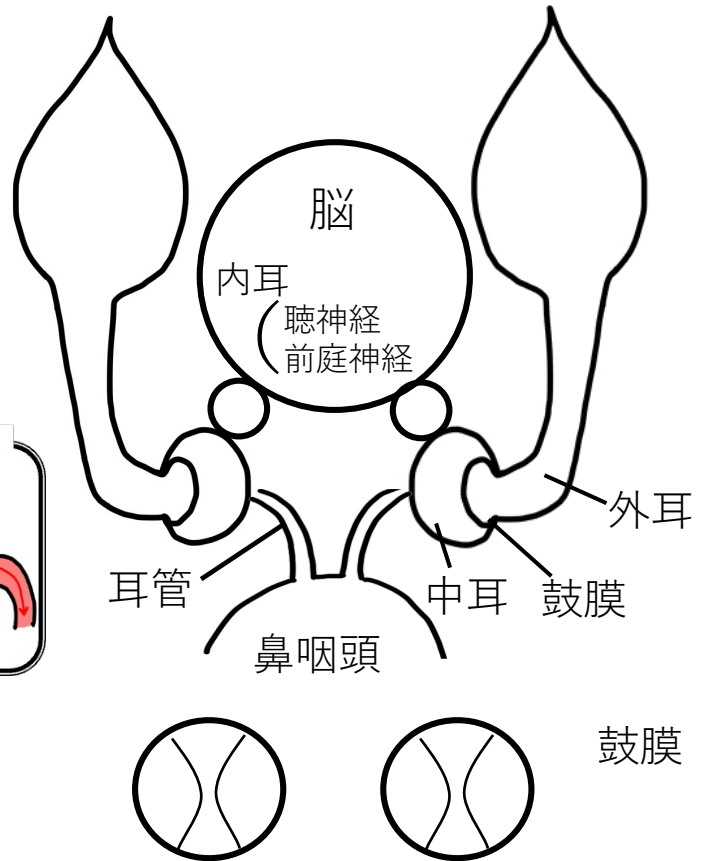
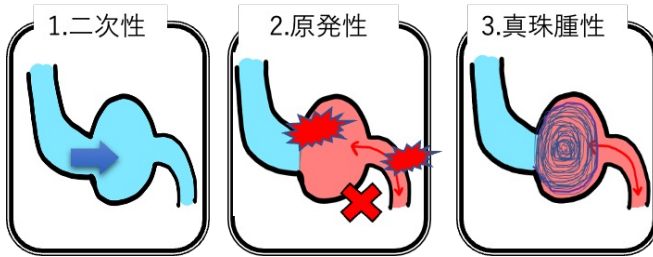


フレブルの中耳炎 (中耳に何かしら貯留物がある状態)

原因

1. **二次性 (犬)**
外耳炎→鼓膜穿孔→中耳炎
2. **原発性 (猫、短頭種)**
中耳・耳管由来
3. **真珠腫性**
多くは鼓膜の陥凹による?



診断

1. 症状
 - 活動性の低下
 - 疼痛：開口・摂食障害、怒る
 - よく頭を振る
 - 耳漏、ポリープ
 - 難聴
 - 呼吸症状
 - 神経症状
顔面神経, ホルネル, 内耳炎
 - 髄膜炎
2. 画像診断
 - レントゲン
 - CT/MRI
3. ビデオオトスコープ
 - 鼓膜の確認

フレブルの中耳炎は…

- 原発性もしくは真珠腫性が多く、根本的には完治が難しい疾患です。
- 内服で改善しない場合、VO洗浄や外科切除が必要です。

治療

1. 点耳・内服
2. ビデオオトスコープによる保存療法：徹底頻繁、最低限
3. 外科切除：腹側鼓室胞骨切り術, 全耳道切除